



目標管理型評価

【検討状況】

目標管理型評価WG(計3回)・部会(計1回)において、改善方策を検討

【検討事項】

①メリハリのある評価の実施、②目標設定の在り方 等

【主な意見】

- ・政策評価を政策の見直し・改善に資するものにする
- ・新たに負担を増やさない。評価対象の選択・省力化が必要
- ・効果的・効率的な行政と国民への説明責任の両方が満たされていることが望ましいが、政策等によってはいずれかに重点が置かれる場合も考えられる
- ・評価の対象となる施策のくくりが大きすぎる
- ・全ての施策を目標管理型評価の対象とする必要はなく、定型的な業務などについては、モニタリングでも構わないのではないか
- ・現状や課題をデータに基づいて分析し目標を設定するまでのプロセスを明らかにすることが必要ではないか
- ・何もかもを定量化しなければいけないという誤解を解いていく必要がある

【取りまとめの方向性】

事前分析表等の例を見ながら、各府省の実情も踏まえ、具体的な目標管理型の政策評価の改善方策を取りまとめ (モニタリングの典型的なモデルケースやその考え方)

規制評価

【検討状況】

規制評価WG(計3回)・部会(計1回)において、改善方策を検討

【検討事項】

①評価の質の向上、②評価の活用の推進、③メリハリのある評価の実施 等

【主な意見】

- ・ 規制の立案過程に評価をどう仕組むかが問題
- ・ 規制の新設・改廃等に至った課題・原因・原因のコントロール方法といったロジック・モデルから整理が必要
- ・ 規制を類型化し、類型に応じた簡便な評価方式の提示も検討すべき
- ・ ガイドラインには、評価書の記載事項に加え、具体的な作成作業も記載すべき
- ・ 規制改革会議が行う規制レビューとの連携を検討すべき

【取りまとめの方向性(平成27年度中間成果)】

- ①個別の評価書の改善方策(費用・便益の改善方策(定量化等)、代替案の設定 等)
- ②①を基に、個別分野の規制に係る評価手法・評価時の基本的な考え方(定量化に関する基本的な考え方、評価を簡素化できるものの例 等)
- ③各課題(評価書様式の問題点、検討段階における評価の活用方法、規制レビュー等との連携)に関する考え方(中間整理)